

令和3年4月21日のスポーツ審議会総会において、室伏広治スポーツ庁長官から、第3期スポーツ基本計画の策定について諮問。今後、令和3年度中に、第3期スポーツ基本計画を策定予定。

### 第2期スポーツ基本計画（平成29～令和3年度）等に基づく取組結果

- 競技力強化の戦略的な支援はもとより、スポーツ実施率向上、スポーツ国際戦略、ガバナンス改革等に係る取組方針の策定など、着実に取組を推進
- 成人の週1回・週3回以上のスポーツ実施率、障害者の週1回・週3回のスポーツ実施率は、計画策定時と比較していずれも上昇しているものの、当初掲げた数値目標に向けた進捗としては十分とは言えない状況。また、少子化が進展する中、運動部活動改革、地域における青少年のスポーツ環境の整備が急務の課題
- 各般の取組を国民生活に根差したレガシーとして継承発展させることに加えて、新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応はもとより、デジタル化、少子高齢化・人口減少、地域間格差、持続可能な開発、共生社会の実現等、国内外の様々な社会的な課題や潮流を的確に捉えつつ、取組の方向性を明らかにしていくことが求められている
- スポーツにかかわる全ての人の権利の尊重と安全の確保を図るとともに、引き続き、ハラスメントや暴力・体罰の防止、ドーピング違反の防止、スポーツ団体の健全・適正な運営の確保の徹底を図らなければならない



### 第3期スポーツ基本計画の策定に当たり、次の事項を中心に審議を依頼。

#### 第3期スポーツ基本計画の策定について（諮問）

##### 第一 未来社会における生涯を通じたSport in Lifeビジョン等を含め、2030年以降を見据えたスポーツ政策の在り方の提示

（踏まえていただきたい観点）

- ・ スポーツ基本法の理念、スポーツ庁設立の趣旨、第2期計画の成果と課題
- ・ 東京大会をはじめとした大規模スポーツ大会の自国開催に係るレガシーの継承・発展
- ・ 予想される社会の変化を踏まえた、来るべき社会像
- ・ 「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念やユネスコのカザン行動計画等の国際動向

##### 第二 今後5年間のスポーツ政策の目指すべき方向性及び主な施策、計画の実効性を高めるための方策の提示

（踏まえていただきたい観点）

- ・ 障害者、女性、子供、高齢者等、多様な主体の参画
- ・ スポーツ団体、他の行政機関、地方公共団体、学校（大学及びUNIVAS等を含む。）、民間事業者、研究機関等との連携・協力
- ・ デジタル技術をはじめとした新技術やデータの活用
- ・ 多様な財源・資源の安定的な確保、戦略的・効果的な活用
- ・ 各々の政策目標や具体的施策の達成状況に係る検証・評価
- ・ 地方スポーツ推進計画等の策定に当たった指針としての活用

3ス庁第134号

ス ポ ー ツ 審 議 会

次に掲げる事項について、別紙理由を添えて諮問します。

第3期スポーツ基本計画の策定について

令和3年4月21日

ス ポ ー ツ 庁 長 官                      室 伏 広 治

(理由)

平成 27 年 10 月に発足したスポーツ庁は、スポーツ基本法の趣旨・理念を踏まえ、スポーツを通じ、国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むことのできる「スポーツ立国」の実現を目指し、青少年の健全育成、地域社会の再生、心身の健康の保持増進、社会・経済の活力の創造、国際貢献など、スポーツが国民生活において多面にわたる役割を果たすことができるよう、スポーツ行政を総合的・一体的に推進することを使命としている。

スポーツ庁の発足も踏まえ、平成 29 年 3 月に「第 2 期スポーツ基本計画」(以下「第 2 期計画」という。)を策定してから、4 年が経過した。

第 2 期計画では、①スポーツで「人生」が変わる、②スポーツで「社会」を変える、③スポーツで「世界」とつながる、④スポーツで「未来」を創るという 4 つの観点から「スポーツの価値」を提示した上で、4 つの政策目標、19 の施策目標、139 の具体的な施策を取りまとめるとともに、20 の成果指標を設定しているところである。

第 2 期計画の策定を踏まえ、スポーツ庁では、「競技力強化のための今後の支援方針(鈴木プラン)」に基づく国際競技力向上に向けた取組を戦略的に進めているほか、「スポーツ実施率向上のための行動計画」、「スポーツ実施率向上のための中長期的な施策」、「スポーツ国際戦略」、「スポーツ団体ガバナンスコード」を策定するなど、その着実な実施に向けた取組を進めているところである。

また、第 2 期計画に掲げる各施策の進捗状況や成果目標・指標の達成度合い等については、スポーツ審議会場で定期的に点検を行いつつ、施策の改善につなげているところである。

一方で、成人・障害者等のスポーツ実施率の伸び悩みや子供の体力の低下傾向など、第 2 期計画で掲げた数値目標の進捗が十分でないものもある。

また、少子化が進展する中、運動部活動について従前と同様の運営体制では維持が難しくなっており、学校における働き方改革の視点も踏まえて、運動部活動改革に取り組むとともに、地域における青少年のスポーツ環境の整備を進めていくことが急務の課題となっている。

さらに、第 2 期計画の期間中は、2020 年東京オリンピック競技大会・東京パラリンピック競技大会(以下「東京大会」という。)をはじめとした国際スポーツ大会の自国開催に向けた機運の高まりの中で様々な取組を積み上げてきたところであるが、「第 3 期スポーツ基本計画」(以下「第 3 期計画」という。)においては、これまでの成果を、国民生活に根差したレガシーとして、継承・発展させていくことも重要な課題である。

今後とも、スポーツがその役割を果たし、社会の発展に寄与していく上で、社会経

済活動や人々の生活に多大な影響を及ぼしている新型コロナウイルス感染症の感染拡大への対応はもとより、デジタル化の進展、少子高齢化・人口減少、地域間格差、持続可能な開発、男女共同参画・共生社会の実現等、国内外の様々な社会的な課題や潮流を的確に捉えつつ、取組の方向性を明らかにしていくことが求められている。

そして、スポーツにかかわる全ての人の権利の尊重と安全の確保を図るとともに、スポーツ界への信頼が脅かされるような事態が生じることのないよう、引き続き、ハラスメントや暴力・体罰の防止、ドーピング違反の防止、スポーツ団体の健全・適正な運営の確保の徹底を図らなければならない。

以上のことを踏まえつつ、令和4年度からの第3期計画を策定するに当たり、主に次の事項を中心に御審議をお願いしたい。

第一に、スポーツ基本法の理念、スポーツ庁の設立の趣旨、第2期計画の成果と課題、東京大会をはじめとした大規模スポーツ大会の自国開催に係るレガシーの継承・発展、予想される社会の変化を踏まえた来るべき社会像、「持続可能な開発目標（SDGs）」の理念やユネスコのカザン行動計画等の国際動向等を踏まえつつ、未来社会における生涯を通じた豊かな Sport in Life ビジョン等も含め、2030年以降を見据えたスポーツ政策の在り方についてお示しいただきたい。

第二に、第一の2030年以降を見据えたスポーツ政策の在り方を踏まえた、今後5年間のスポーツ政策の目指すべき方向性及び主な施策の内容についてお示しいただきたい。その際、スポーツ基本計画の取組の方向性や具体的施策が、国民生活全般にいきわたり、その実効性を高めることができるようにするため、特に以下の点について御検討いただきたい。

- 障害者、女性、子供、高齢者等、多様な主体の参画
- スポーツ団体、他の行政機関、地方公共団体、学校（大学及び一般社団法人大学スポーツ協会等を含む。）、民間事業者、研究機関等との連携・協力
- デジタル技術をはじめとした新技術やデータの活用
- 多様な財源・資源の安定的な確保、戦略的・効果的な活用
- 各々の政策目標や具体的施策の達成状況に係る検証・評価
- 地方スポーツ推進計画等の策定に当たっての指針としての活用

以上の点について、自由闊達に御審議いただき、今年度中に、第3期計画に盛り込むべき内容として、今後のスポーツ施策の推進についての基本的方針及び諸方策を御提示いただきたい。これが今回の諮問を行う理由である。

第3期スポーツ基本計画の全体像イメージ（たたき台）

【理念・総論】

- 基本的な方向性や施策を議論する際の基礎となる「スポーツの価値」を改めて確認。
- コロナ禍や東京オリンピック・パラリンピック競技大会を経て再確認できたものの分析。
- 第2期計画での成果・課題の確認。成果を挙げた要因や達成できなかった理由などの分析。
- 第2期計画での成果・課題やその後の社会状況等の変化を踏まえて、第3期計画として取り上げるべき新機軸を含め、施策の基本方針の打ち出し。

など

【今後5年間に総合的・計画的に取り組む施策（各論）】

→【理念・総論】で掲げた施策の基本方針を実現するための具体的な施策の検討。

（※各項目についている○数字の番号は、今回から3回に分けて実施する各論の番号に対応）

- スポーツの価値・役割を発信・浸透させるための体制・環境づくり
  - ✓ スポーツの「楽しさ」を享受できるライフステージに応じたスポーツ施策（①②）
  - ✓ 地域におけるスポーツ推進体制・環境の整備（大学等も含め）による取組の促進（①②）
  - ✓ 「多様性と調和」の実現に向けたスポーツの役割（①）
  - ✓ スポーツの価値・役割を受けるうえで前提となるスポーツを実施する人の心身の安全安心に向けた対応（②）
  - ✓ 経済や地域活性化、国際貢献などスポーツ以外の世界へのスポーツの価値の波及（③）

など

- 社会・人々にスポーツの価値を発信・浸透するためのスポーツの担い手の基盤づくり
  - ✓ 団体の改革（役割・責任の再整理・再認識、収益構造改革・経営力改善等）を通じたスポーツ諸活動の活性化（①～③通じて）
  - ✓ 質の高い健全な指導者の確保（②）

など

- 東京大会の成果を一過性としらない国際競技力の向上（③）

- 国民の理解に向けた広報・啓発の推進、EBPMに基づくスポーツ政策の推進（①～③通じて）

など

各論①（9月28日）※本日

- ・ 障害者、女性、子供、高齢者等多様な主体によるスポーツ実施の促進、スポーツによる健康増進、スポーツを通じた共生社会の実現
- ・ 総合型地域スポーツクラブ・スポーツ少年団等地域スポーツ環境の整備・充実、スポーツ推進委員の有効活用

各論②（10月7日）

- ・ 学校体育、運動部活動改革をはじめ子供のスポーツ機会の充実、体力の向上
- ・ スポーツに関わる人材の育成と活躍の確保
- ・ スポーツ施設やオープンスペースなどスポーツをする場の充実

各論③（10月14日）

- ・ スポーツの成長産業化、スポーツを通じた地域振興・地域活性化、大学スポーツの充実
- ・ スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献
- ・ 国際競技力の向上、クリーンでフェアなスポーツの推進

## 第2期スポーツ基本計画の構造

### 第1章 第2期スポーツ基本計画の策定に当たって

- 1 スポーツ庁の創設と第2期スポーツ基本計画
- 2 第2期スポーツ基本計画の概要
- 3 第2期スポーツ基本計画が目指すもの

### 第2章 中長期的なスポーツ政策の基本方針

- 1 スポーツで「人生」が変わる！
- 2 スポーツで「社会」を変える！
- 3 スポーツで「世界」とつながる！
- 4 スポーツで「未来」を創る！

### 第3章 今後5年間に総合的かつ計画的に取り組む施策

#### 1 スポーツを「する」「みる」「ささえる」スポーツ参画人口の拡大と、そのための人材育成・場の充実

##### (1) スポーツ参画人口の拡大

- ① 若年期から高齢期までライフステージに応じたスポーツ活動の推進
- ② 学校体育をはじめ子供のスポーツ機会の充実による運動習慣の確立と体力の向上
- ③ ビジネスパーソン、女性、障害者のスポーツ実施率の向上と、これまでスポーツに関わってこなかった人へのはたらきかけ

##### (2) スポーツ環境の基盤となる「人材」と「場」の充実

- ① スポーツに関わる多様な人材の育成と活躍の場の確保
- ② 総合型地域スポーツクラブの質的充実
- ③ スポーツ施設やオープンスペース等のスポーツに親しむ場の確保
- ④ 大学スポーツの振興

#### 2 スポーツを通じた活力があり絆の強い社会の実現

##### (1) スポーツを通じた共生社会等の実現

- ① 障害者スポーツの振興等
- ② スポーツを通じた健康増進
- ③ スポーツを通じた女性の活躍促進

##### (2) スポーツを通じた経済・地域の活性化

- ① スポーツの成長産業化
- ② スポーツを通じた地域活性化

##### (3) スポーツを通じた国際社会の調和ある発展への貢献

#### 3 国際競技力の向上に向けた強力で持続可能な人材育成や環境整備

- ① 中長期の強化戦略に基づく競技力強化を支援するシステムの確立
- ② 次世代アスリートを発掘・育成する戦略的な体制等の構築
- ③ スポーツ医・科学、技術開発、情報等による多面的で高度な支援の充実
- ④ トップアスリート等のニーズに対応できる拠点の充実

#### 4 クリーンでフェアなスポーツの推進によるスポーツの価値の向上

- ① コンプライアンスの徹底、スポーツ団体のガバナンスの強化及びスポーツ仲裁等の推進
- ② ドーピング防止活動の推進

### 第4章 施策の総合的かつ計画的な推進のために必要な事項

- 1 計画の広報活動の推進
- 2 計画実施のための財源の確保と効率的・効果的な活用
- 3 計画の進捗状況の定期的な検証

第3期スポーツ基本計画策定の審議会スケジュール

|               | スポーツ審議会総会              | スポーツ基本計画部会    |
|---------------|------------------------|---------------|
| 令和3年<br>4月21日 | 諮問<br>部会の設置            |               |
| 4月26日         |                        | 現行計画の進捗状況と課題  |
| 5月13日         |                        | 関係団体からのヒアリング① |
| 5月19日         |                        | 関係団体からのヒアリング② |
| 5月24日         |                        | 関係団体からのヒアリング③ |
| 6月11日         | 次期計画策定に向けた課題、議論の方向性の整理 |               |

6月24日 ※スポーツ推進会議（関係省庁に協力依頼）

|        |          |                                    |
|--------|----------|------------------------------------|
| 9月28日  |          | 次期計画の基本的な考え方の方向性案<br>次期計画における主要課題① |
| 10月7日  |          | 次期計画における主要課題②                      |
| 10月14日 |          | 次期計画における主要課題③<br>次期計画の構造案（たたき台）    |
| 11月頃   | 次期計画の骨子案 |                                    |
| 12月頃   |          | 中間報告案                              |

12月頃 ※スポーツ推進会議（関係省庁に協議、意見交換）

|      |              |
|------|--------------|
| 12月頃 | 中間報告案（審議・決定） |
|------|--------------|

※中間報告のパブリックコメント（1ヶ月程度）

|             |                        |
|-------------|------------------------|
| 令和4年<br>1月頃 | 中間報告に対するパブコメの結果<br>答申案 |
| 3月頃         | 答申案（審議・決定）             |

3月頃 ※スポーツ推進会議（計画案の協議）

3月末 ※計画の大臣決定。官報公示。